

INFORMATION

No. 1306-21

新規受託のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして、新規受託を開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

敬具

記

■検査要項

コード	検査項目名	採取容器	検体量	検査方法	基準値	単位	所要日数	実施料 [判断料区分]
0748	膝グルカゴン	44 (アプロチニン容器)	血漿 0.6ml	RIA(二抗体法)	70~174	pg/ml	6日 ~ 8日	150点 [生化学的 検査(Ⅱ)]
4419	抗トリコスポン・アサヒ抗体	A	血清 0.5ml	ELISA	0.15未満 陰性	CAI ^{※1}	9日 ~ 18日	900点 ^{※2} [免疫学的 検査]

※1 CAI: Corrected Absorbance Index; (補正吸光度)

※2 平成25年6月1日より保険適用

ア. 抗トリコスポン・アサヒ抗体は、区分番号「D014」自己抗体検査の「25」抗アセチルコリンレセプター抗体の所定点数に準じて算定する。

イ. 当該検査は、ELISA法により、夏型過敏性肺炎の鑑別診断を目的として測定した場合に算定できる。なお、鑑別診断目的の対象患者は、厚生省特定疾患びまん性肺疾患調査研究班による「過敏性肺炎の診断の手引と診断基準」により、夏型過敏性肺炎が疑われる患者とする。

(裏面参照)

■受託開始期日

平成25年 7月 1日(月)より受託開始

株式会社 武蔵臨床検査所

*お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659
URL <http://www.e-musashi.co.jp>

■膵グルカゴン

グルカゴンは、膵臓のランゲルハンス島の α 細胞から分泌されるホルモンで、肝臓に作用し、グリコーゲンを分解して血中にブドウ糖の放出を促します。

血中グルカゴン値が上昇する疾患として、グルカゴン産生腫瘍(グルカゴノーマ)、糖尿病、急性および慢性膵炎、肝硬変、腎不全、飢餓などがあります。一方、血中グルカゴン値が低下する疾患として、慢性膵炎非代償期での膵性糖尿病、下垂体機能低下症、グルカゴン欠損症などがあります。

グルカゴン検査は測定試薬の国内販売が中止され、弊社でも平成22年 1月29日をもって検査受託を中止しましたが、今回新たに測定試薬の製造販売が開始されたことから検査受託を開始いたします。

◆参考文献

河邊 顕, 他: 日本臨床, 68(増7):529~532,2010.

■抗トリコスポロン・アサヒ抗体

夏型過敏性肺炎は、トリコスポロン属の真菌胞子の反復吸入により発症するアレルギー性肺疾患で、日本の過敏性肺炎の約70%以上を占める特徴的な疾患です。

発症時期は、トリコスポロンが高温多湿の居住環境で増殖する7月をピークとした夏季に多く、発症環境の大部分は患者自宅です。予後は、亜急性では良好ですが、居住環境から原因抗原が除去されずに再発を繰り返して慢性型に移行すると、肺の線維化をきたし呼吸不全に至ることもあり、早期診断が必要です。最近では、居住環境の気密化や加湿器の普及により、発症環境は古い木造家屋に限らず、発症時期も長期化の傾向があるといわれています。

このたび、夏型過敏性肺炎の主要な原因抗原トリコスポロン・アサヒ(*Trichosporon Asahii*)に対する抗トリコスポロン・アサヒ抗体の測定を受託開始いたします。本検査は、呼吸器感染症や間質性肺疾患との鑑別に有用と考えられます。

【判定基準】

CAI	判定
0.15未満	陰性
0.15~0.30未満	判定保留
0.30以上	陽性

◆参考文献

三宅 修司, 他: 日本呼吸器学会誌39(1):7~11,2001. (検査方法参考文献)

新井 徹, 他: 呼吸器科13(5):404~411,2008.